【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2006-516817(P2006-516817A)
【公表日】平成18年7月6日(2006.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-026
【出願番号】特願2006-501635(P2006-501635)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｓ　3/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｓ　3/10

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年10月21日(2011.10.21)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２４】
単純な変形例においては、互いに対向する実質長方形断面の２枚のレーザー鏡によって本発明の折返し装置を構成することができる。両方の鏡は、互いに少し傾いており、本例ではレーザー共振器の内側に設けられている。折返し装置に入射後、ビームは基本的にこの部材内をジグザグに進むが、反射点間距離は連続的に変化する。折返し装置の端部において、ビームは後方に反射され、又は出射して、例えばレーザービームのビームスプリッタとして用いられるミラー部材で反射された後に、折返し装置に戻される。これにより、第一ビーム経路とは異なるビーム経路が続く。